



日本聖公会  
大阪教区教務局  
〒545-0053  
大阪市阿倍野区  
松崎町2-1-8  
TEL 06-6621-2179  
FAX 06-6621-3097  
発行責任者  
教務局長 司祭 原田光雄

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 [office.osaka@nsk.org](mailto:office.osaka@nsk.org)

第411号 2010年2月14日発行

長い冬も終わりに近づくころ、明るい日差しを浴びて、凡ての生命がよみがえろうとする時、私たちは大齋節を迎えます。昔から教会は特別な期間として、信仰をより強めるための訓練の時として守ってきました。その最初の日「大齋始日」が何時も水曜日となるので、これを「灰の水曜日」(灰をかぶって過去の罪を悔いる日)と言って、大齋節の



司祭 ペテロ 松山 龍二

## 大齋節

### それは信仰を鍛える時

とに心を用いたいのです。そのために自ら悔い改め、徹底的に自己を検討し、主に導かれて罪、欲と戦い、専心克己する訓練の必要を強く感じるのです。  
大齋節の登りつめたところから「聖週」(受難週)に入ります。今年は三月二十八日復活前主日からです。  
主イエスが堅い覚悟をもって上京されたのは日曜日です。

信仰生活の中で、常になさけている筈の「祈り」に打ち込み、「聖書」に親しみ、「礼拝」に参加し、賜物を用いて「奉仕」に励む。相互に「ゆるし」あい、「忍び」あう。これらの実行によって「大齋節」と言われる一定した期間に、生命力に満ちた信仰のよき訓練ができるのです。私たちは本気が努力し、克己精励したいものです。

ころには真実な信仰の道はないのでは。訓練は、地味なもの、人に隠れた努力の歩み。どんな訓練をしたらよいのか。カルヴァンは『主の福音が示す宝を掘り起こすのは祈りだ』と言っている。わかりきったこと、平凡な道と思われながらも知れない。聖書に聴き、学び、祈るといふことに、今年の大齋節は徹底されてはどうだろうか」とお勧めしたので。  
「信心のために自分を鍛えなさい」テモテへの手紙I、4章7節。  
(まつやま たつじ 大阪教区 退職司祭)

始まるのを告げたのです。今年は二月十七日(水)です。大齋節は信仰の生命に立ち帰る時と言えます。私たちはこの大齋節に、主の荒れ野での四十日四十夜の断食、サタンの誘惑と戦われたことに続く、主の受難が私たちのためであったことを想起し、それに相応しい養いを受け、成長して神のみ旨にかなうように霊的・身体的条件を整えるこ

切です。この日から一日一日と死の陰はまし、ついに金曜日、十字架と葬りということで、その生涯を終えられました。この聖週に私たちは主イエスを共に、その場所に、その時に在る如くに考え、深く想い、祈り、信仰の決心を新たにしたい。私たちが本当に真理を身につけるには「行動的」に学ぶということが極めて大切です。

主の復活の日に復活の力に満たされるのも、こうした主イエスに仕える者として、主のみ足跡に従う喜びと感謝をこの時に体得することから、始めて与えられるものなのです。  
先日、信徒の方から「大齋節」をどのように過ごしたらよいのですかと問われた。私は「大齋節の過ごし方は色々。あなたなりに道を開いて、信仰に生きる道を尋ね出されては。どのような道にせよ、自分を訓練することが大切。自分を鍛えることをわすれたと



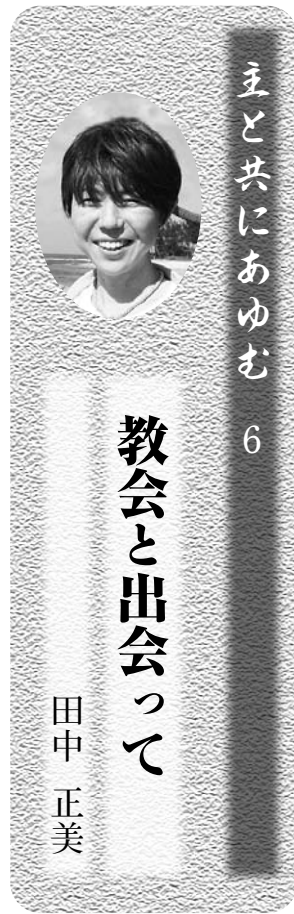
2005年春、休職中の私を「今度一緒に教会に行く？」と子どもを通して知り合った友人が誘ってくれました。私の

みはありました。小学生の時、裏庭で飼っていたウサギにえさをあげたあと、夜空の星や月に向かって「アーメン」と毎日一人お祈りしていた事も

いうことに興味もありました。友人の誘いに「教会に行ってみたい」と強く思い、聖三一教会の教会学校に、当時小学3年の子どもと参加しました。

よる疲労、終末期医療の中で何も出来なかった自分に感じた罪悪感と虚無感、管理職という責任、子どもを取りまく環境や教育への不安、人間関係によるストレス等で心がずさみ病んでいた自分が、「祈り」「感謝する事」で救われるような気がしました。

まど共にあゆむ 6



教会と出会う

田中 正美

家はキリスト教ではありませんが、弟がキリスト教の幼稚園に通っていたことから賛美歌や「アーメン」という言葉に親し

ありました。私は病院で看護師として勤務していましたが、がん患者さんと関り緩和医療や終末期医療を学ぶ中で「祈り」と

ルガンの音色と子供たちの明るい歌声を聞き、はじめて言葉にした主の祈りを唱えたと

き胸が熱くなりました。育児と夜勤のある仕事との両立に

送っています。相変わらず忙しい、自分の体に無理のない範囲で教会に行くという生活を

5年目を迎えた守口ぶどうのいえ

司祭 ダニエル 山野上 素充

守口復活教会は、病院近くの我が家としてくつろげる場所を提供することにより、病気の患者と家族の福祉に寄与することを目的として、20

05年11月に守口ぶどうのいえを設立し、運営してきました。建設から今まで物心両面でお支えくださった大阪教区

の教会・信徒の皆さんに心からお礼申し上げます。おかげさまで第5年に入りました。

今まで利用された人は延べ約1700人になりました。高度医療を受けるために遠

方より来院する患者、および大阪で居住・滞在中に起こる突然の病気や不慮の事故で入院した患者の付き添い家族が安心して滞在できる施設は極めて少ないのが現状です。適当な滞在施設がない場合には近くのホテル等に宿泊しますが、治療費に加えて宿泊費用が経済的圧迫になっています。

(次ページにつづく)

の為」のもので、大人が入院した時にも利用できるのは1割程度です。

日々の運営は、守口復活教会内のボランティアによって滞りなく進められています。企業や大口の寄付者がいるわけでない守口ぶどうのいえにとって継続的な支援をしてくださるのは、約600人の方々と90教会その他数団体で、教会数は毎年増加しています。

守口ぶどうのいえの会計状態はおかげさまで順調で、待つたなしで修理・取り換えが必要なエアコン・給湯器の修理・取り換えに必要な積立金も準備することができました。壁紙も定期的に張り替える必要が出来ます。外壁もみすばらしくないように10年単位での塗装が必要になります。このような施設運営を始めると、途中でやめることができないので、それなりの積立金を準備

することは、永続するための必須条件です。今年の課題は、滞在施設の情報が必要な人に届くように病院との連携を密にすることです。  
各教会に後援会費・寄付金の振替用紙をお送りしています。どうぞご支援ください。すようお願い申し上げます。  
(やまのうえ もとみつ 守口ぶどうのいえ施設長 守口復活教会牧師・司祭)



### 教区関連諸施設のこと

大阪教区内には教区・教会関連諸施設がたくさんある。

社会福祉法人聖ヨハネ学園、博愛社、東光学園、三光塾、学校法人プール学院、桃山学院、財団法人聖バルナバ病院、NPO法人聖公会生野センター、守口ぶどうのいえ、教会付設の幼稚園、保育園などがそれである。

素晴らしい実を結んでいる。イエス・キリストを信じ、奉仕の業を始めた創設者の意思を大切に継承し、百年をこえる歴史を築いてきた施設も多い。二十一世紀を迎えた今、創設の精神をこの時代にどのように生かし、実りあるものにしていくかが問われている。さまざまな立場にある人々のニーズに答えていく諸施設の働きは、「すべての人々の関わりの中で、深い愛の絆を大切にし、他者を生かすた

めに命をささげられたイエス・キリストの生きざま」に原点を据え、それをお手本としていくことである。  
今年から来年にかけて、いくつかの施設では建て替え、新築・改築工事が実施される。建物が新しくなることは、この上もない大きな喜びである。温かなキリストのいぶきを感じられるような新しい器とその中身を、関係者一同が協力して作り上げていきたい。  
また、教区の皆さまには諸施設の働きを覚えてお祈りくださるようお願いいたします。  
(主教サムエル大西 修)

### 大阪教区「聖週」の礼拝予定

- 聖木曜日  
4月1日(木)  
午後3時  
聖油聖別式・司祭接手約束の更新・洗足式  
司式・説教 サムエル 大西 修主教
- 聖金曜日  
4月2日(金)  
午後1時  
教区聖金曜日礼拝(主の御苦しみの黙想と陪餐)  
司式 テモテ 内田 望司祭  
説教 ヨハネ 成田邦雄司祭
- 午後6時30分  
受苦日礼拝(教区聖金曜日礼拝)  
司式 サムエル 大西 修主教  
説教 ヨハネ 奥 康功司祭

### 神学生は皆さんの献金で支えられています!

神学生一人の1年間にかかる諸経費(学費、寮費、手当、奨学金等)は独身者の場合で約200万円、既婚者の場合で約350万円です。  
毎年おささげいただいている後援会献金は約350万円、一人分の費用は満たされませんが、二人の費用を満たすことはできません。何とか目標額を二人の費用を満たすところに置き、新たな神学生の誕生を安心して迎えたいと願っております。  
これからの教区の働きを担う神学生を支援するため、一人でも多くの方々がこれまで以上に後援会献金にご協力ください。大阪教区神学生後援会

今年も西宮聖ペテロ教会で  
「阪神・淡路大震災の追悼礼拝・コンサート」

160人が集い、祈り献げる

西宮聖ペテロ教会では1月17日午後7時から、阪神・淡路大震災の15周年を記念して恒例の「追悼礼拝・コンサート」を開き、合唱団を含め約160人が参加して例年にまさる感動的なひとときを共に分かち合った。震災の翌年から始められた「追悼礼拝・コンサート」も、今年は回を重



合唱団も会衆も一緒になって追悼の讃美歌を歌う

ねて14回目。震災当時の思いが次第に風化するなか、奥康功司祭の挨拶のあと、「セレステイナ男性合唱団」、女性合唱団「アルカンシエル」の合唱、大西修・大阪教区主教の切々としたメッセージ、最後に全員で「いつくしみ深き」「安かれわが心よ」など讃美歌の合唱と祈りによって、犠牲者の方々への参加者の追悼の思いが一つとなつて天のみ国に届けられた約1時間20分であった。

大西主教はメッセージで「合唱団のレクイエムを聴き、作曲家たちの歴史が甦る思いがする。歌を歌う中で亡くなった人々を心の中心にしっかりとらえ、この人たちの支えで今日があることを思いたい」と切り出され、「ハ

イチの大地震では死者が20万人にも達するとの報道の中で、私たちははたしてこの地震を自分のことと受け止めることができるだろうか」と問いかけられた。さらに「自分も1964年の新潟地震で家が傾き、また中越地震などを経験された過去を振り返り、「つらい思い出が私の中に生きているが、同時に苦しんでいる人々に自分たちの思いを向けることが出来るかどうか、一人一人がよく考えてみたい」と。また「人を信じるのが難しい時代だが、人を信じ、人の痛みを共有できる豊かな感性が必要だ。すばらしい歌声で亡くなった人たちの主のみもとにおける安息を祈ることが出来ることに思いめぐらせた」と結ばれた。

なお、当日の社会福祉のたのめ自由献金では5万8千円が献げられた。(編集部)

教区婦人会被献日礼拝

堺聖テモテ教会に170人が集い、田宮執事が説教



聖テモテ教会での被献日礼拝

大阪教区婦人会による「被献日礼拝」は2月2日(火) 堺聖テモテ教会で行われ、大西修主教をはじめ聖職・信徒173人が出席。「独りのみ子が律法に従い神殿において献げられ、主の民の栄光、諸国民の光として迎えられた」(被献日特祷から)ことを記念し、感謝と賛美を献げました。

午前10時30分から大西主教の司式により聖餐式が行われ、礼拝堂を埋めつくした会衆の祈りと力強い賛美の歌声がこ

だましました。説教は、「釜ヶ崎」での働きを続けられている田宮紘執事が、釜ヶ崎の教会の礼拝に参加した時の話から始めました。ある炊き出しボランティアの母が亡くなり、代祷で追悼の祈りのあと、一人の人が「お前はいい母親があつてよかつたな。ワシは母親に捨てられたんや」と。そこから説教はイエスの母マリアに移り、「婚約の期間中に婚約者以外の子どもを身ごもり、宗教が支配する社会に受け入れられることの難しい中で、『主は思いあがる者を打ち散らし、権力ある者をその座から引き降ろし、身分の低い者を高く

(次ページ4段目につづく)

# 年末の教役者会 夜遅くまで語り合う

司祭 ヨハネ 鍋島 守一



二〇〇九年の暮れに、大阪の池田市の伏尾温泉の「不死王閣」(宿泊施設)において教役者会がありました。大阪教区

の各教会より一時間以内にあるというこの施設は、阪神高速で向う途中の道路で、「カーナビ」の表示が大阪、兵庫、

京都と繰り返すような場所に位置しています。大阪教区では、月一回、月曜日の夕方に、教役者会をも

っています。以前は昼行われた時代もありましたが、学校に関する教役者が参加できないということ、現在のよう

夕方に、それも教区館で行われるような形になりました。それでもほとんど出席できない教役者がおられます。

教役者会では、予定の他事務的な報告、現状の報告などがあり、その時々に必要な応じて学習会をしています。終了時間が遅くなることもあり、さらに教役

者の減少と役割配分の増加の結果は、教役者同士のゆっくりとした話し合い、交わる機会も少なくしています。

そこで、みんなの都合がいい日ということ

で、日時・十二月二十九日と三十日、場所・不死王閣、ということに決定しました。教会でのクリスマスの一連の行事が一段落し、教役者にとって

はホットできる日、家族にとつては年末のいそがしい日です。そこで、一泊二日の日程で

教役者会が開かれました。体調不良、職務上の理由で参加できなかった方はおられま

が、それ以外は全員集合、夕方六時から、祈りを共にし、学校に関する教役者の方々からの報告を聞き、その働きと課題を分かち合うことができました。豪華な食事に戸惑いながらも、夕の食事を共にして

久し振りにゆつたりとした時間を持つことができました。特別のプログラムはいっさいなく、何回も温泉に入ったり、夜遅くまで語り合ったりして過ごしました。

そして明るく日は、共に聖餐式に与かり、心を新たにその日からの働きの場に帰るべく、散会しました。(なべしま もりかず 恵我ノ荘聖マタイ教会 富田林 聖アグネス教会牧師)

(前ページよりつづく)

引き上げ、飢えた人を良いもので満たし...と歌った『マリアの讃歌』の激しい逆転の言葉は、私たちを何か不安な気持ちにさせるが、それを読み直すことは出来ない」とし、次のように続けられました。

「この被献日に、貧しい家に生まれたイエスは山鳩2羽とともに神殿に連れてこられたが、シメオンはこの家族が貧しいながら律法通りに儀式をし、イスラエルの社会に受け入れられたことを喜び、歌ったのではないか。イエスは世に出たとき、重い皮膚病を患い、社会から疎外されていた人を癒し、『行つて祭司に見せ、家に帰りなさい』と言われた。社会への、この「帰還命令」は、穢れた者が家族や社会に復帰できる状態になったという確認の言葉を意味する。このようにイエスは最

下層の人々を社会や家庭に復帰させた。聖書で言う『洗礼』は『一度沈んでそこから立ち上がる』ことを言うが、ここに沈むのだろうか。それは人の痛みが分る所だ。本当に人の痛みを知るには、実際に痛

みを感じている人の現場に行き、同じ目線で見ることが必要だ。私の知っている、苦い過去を持つ釜ヶ崎のあるボランティアは、夜回りの時、路上に横たわる『オッチャン』と話しかける際は、必ずしゃがみこんで話しかける。それに対し『ワシはアンタが好きや』と話す『オッチャン』は、その人を直感で分る。イエスの教えは宗教を超えている。聖書は旧約から一貫して、貧しく弱く、虐げられた人々の側にこそ、神の力が働くことを記している。」

聖餐式が終わったあと、教区婦人会・桜井揚子会長が挨拶し、また大西主教をはじめとする8人の聖職の方々に感謝の言葉を述べられました。なお、この日の献金204,124円は日本聖公会婦人会(日聖婦)に送られます。

お断り 田宮紘執事の本稿は、本誌第6ページにも掲載されており、この記事中の「説教」の内容との多少の重複はご容赦くださいますよう、お願いいたします。(編集部)

釜ヶ崎の現場から

野宿の人の自主求め  
必要満たす協働の働き

執事 アンデレ 田宮 紘



田宮 紘 執事

釜ヶ崎では、キリスト教という宗教を宣教することは困難です。釜ヶ崎で活動するキリスト教の諸団体で構成する「釜ヶ崎キリスト教協会」の規約には「布教はしない」と記されています。現代の日本社会では宗教団体は恐ろしいと警戒されています。それは隣人愛を標榜するキリスト教でも同じです。わたしが拠点として「ふるさとの家」にさえフランシスコ会という名を見つけて、世話になると宗教に誘い込まれるからと言って相談するのを躊躇する人もいるそうです。

しかし、教会や個人から善意で寄せられた食料による炊き出しは、空腹を抱える者にとってはありがたいことです。また衣料や毛布は、汚れて破れた服しかない釜ヶ崎で生活する人にとって役立ちます。しかし、野宿している人々本当の願いは「哀れみ」や「施し」ではなく、自分で自立して食べて行けることです。アルミ缶集めや、日雇い仕事の対象とした公園や道路の掃除、草刈りの仕事の順番を待っています。しかし、病気などで体調を崩してそれでもできずにいる人も多いためです。

釜ヶ崎の活動は、一人ひとりの話しを聞き、その人の必要を満たすための協働の作業です。生活保護を受けアパートを確保する、病院に行く、生活が落ち着くまで一人3週間、軌道に乗るまで3ヶ月はかかります。最近、不景気で仕事が無く生活が困難な人が多く、セーフティネットの最後の砦である社会福祉・生活保護の門も広がっています。しかし、この冬も公園で、道端で亡くなる人が多い年です。12月の寒波では三角公園で連日のように凍死者を出しました。今年になっても労働センターで寝袋に入ったまま死んでいるのが見つかりました。「ふるさとの家」では、身寄りのない人のお葬式から、骨を拾い、納骨、残されたアパートの掃除もします。

**みんな集まれ**  
**青少年キャンプ同窓会**

教区の青少年キャンプの楽しい思い出を持ち寄ってわいわいしよう。リーダーのお兄さんお姉さんも集まります。もちろん、青少年キャンプに参加していなかった人も大歓迎!

日時: **3月28日(日) 午後2時半から**  
場所: **聖贖主教会**  
費用: **300円(夕食代)**

申し込みは  
電話: 0748-34-6716 本館  
メール: kintomi2634@iris.eonet.ne.jp まで

主催: 大阪教区宣教部生涯学習委員会

**「ふるさとの家」は路上生活者支援のための献品を募っています。**

- 歯ブラシ
- ひげ剃り
- 石鹸(小)
- 下着(新品)
- 男物靴下
- 毛布(小)
- 運動靴(25.5センチ以上、新品)
- ライター
- 特大どんぶり その他

教区事務所に集めて下されば取りに行きます。

詳細は、  
大阪教区釜ヶ崎宣教担当:  
執事 田宮 紘まで

公 示

救主降生 2010年2月1日  
日本聖公会大阪教区主教  
主教 サムエル 大西 修

日本聖公会法規第25条に基づき、以下の人事を発令します。

司祭 アンデレ 磯 晴久

3月31日をもって桃山学院への出向を解き、4月1日付で石橋聖トマス教会牧師に任命する。

司祭 ヤコブ 松平 功

3月31日をもって石橋聖トマス教会牧師の任を解き、4月1日付で桃山学院への出向を命じる。

司祭 テモテ 内田 望

3月31日をもって大阪聖ヨハネ教会管理牧師の任を解く。

司祭 ヨハネ 鍋島 守一

3月31日をもって恵我之荘聖マタイ教会牧師 及び 富田林聖アグネス教会管理牧師の任を解き、  
4月1日付で大阪聖ヨハネ教会牧師及び 聖ヨハネ学園チャプレンに任命する。

司祭 フランシス・チョウ・ジョンピル

3月31日をもって主教座聖堂付の任を解き、

4月1日付で恵我之荘聖マタイ教会牧師 及び 富田林聖アグネス教会管理牧師に任命する。

公 示

日本聖公会大阪教区第103（臨時）教区会を、下記のように招集します。

救主降生 2010年2月1日  
日本聖公会大阪教区主教  
主教 サムエル 大西 修

記

◆会 期 2010年3月21日(日)午後2時から3時30分まで

◆議 場 日本聖公会大阪教区主教座聖堂（川口基督教会）会館  
大阪市西区川口1丁目3番8号

◆議 題 (1) 2009年度日本聖公会大阪教区一般会計決算（案）承認の件  
(2) 2009年度日本聖公会大阪教区一般会計 余剰金／不足金 処理（案）承認の件

なお、上記教区会の書記および会計を下記のように指名します。

書 記 司祭 施洗者ヨハネ 山本 眞

ペテロ 鈴木 憲二

会 計 司祭 ヨシュア 原田 光雄

ペテロ 米虫 克次

「臨時教区会」と「宣教懇談会」について 《教務局からのお知らせ》

\*この教区会は、法規第106条第2項に基づいて招集される臨時教区会ですが、基本的には前年度の教区一般会計決算について、より適正な時期に審議し採決することを目的としており、実際には定例化しています。

\*今回も例年に倣い、教区会に引き続き、議員・代議員による「宣教懇談会」が開催されます。懇談会の内容に関しては、近日中に常置委員会で協議、決定の上、後日、ご案内されます。

教 区 の 動 き

常置委員会報告

2009年11月23日(第1回定例) 第102定期教区会終了直後
・委員長に竹内信義司祭、書記に山野上素充司祭を選出した。

12月8日(第2回定例)

主教報告

1. 退職司祭テモテ山本登師が12月4日逝去された。(81歳)
2. 12月31日付 中部教区主教フランシス森紀旦師父が退職される。
大西主教は2010年1月から首座主教委嘱による管理主教を務める。
3. 中部教区主教接手式・就任式
2010年2月11日(木) 10:00. 中部教区主教座聖堂(名古屋聖マタイ教会)にて執り行われる。

司式者:植松 誠首座主教
説教者:大西 修大阪教区

4. 川口基督教会創立140周年記念礼拝が2010年9月23日(木)に執り行われる。

教務局長報告

1. 10教会から推薦された31名の信徒奉事者被推薦者名簿を教務局長が作成した。
2. 2009年11月度の一般会計決算報告がなされ承認された。

協議事項

1. 教務局長により提出された左記の信徒奉事者被推薦者が常置委員会の推挙を得、主教によって2010年1月1日付で認可された。

川口基督教会:横倉宏、高橋明子、内海良輔、田中央、社領共美、ユーアン・ヒューム
大阪聖ヨハネ教会:廣政博、興津健蔵

大阪聖パウロ教会:浅田通子
大阪城南キリスト教会:金光秀晃

大阪聖三一教会:高田須磨雄
大阪聖アンデレ教会:小出裕司、佐野重雄、松田英彦

守口復活教会:上坂征憲、小野創、義平雅夫
石橋聖トマス教会:服部喜代司、山崎信、原楨寿子、牧口眞理

西宮聖ペテロ教会:岡田東一、倉戸ナオミ、瀬戸栄一、久保孝彦

芦屋聖マルコ教会:辻潤、長野紀子、和田育子、伊藤良三、錦織依子、宮本憲

2. 第102(定期)教区会からの課題

・信徒代議員資格について、法制委員会に考え方を検討・整理するよう依頼した。
特に信徒代議員選出方法を「教会委員の互選による」と内規に定めている場合の取り扱い。補欠に交代した後の再度の交代が必要になった場合の扱いなど。

・岩城司祭が起案された「大阪教区学びのプログラム」(案)を実行に移すべく(1)

信徒のための学びのプログラムを生涯学習委員会に、(2)信徒奉仕職のための学びのプログラムを山本眞司祭、岩城聰司祭、吉田雅人ウイリアムス神学館館長に検討いただくよう要請することとした。

3. 第103(臨時)教区会および第104(定期)教区会の日程について

第103回(臨時)は、2010年3月21日(日)14時から。第104回(定期)は、11月23日(火・祝)9時から共に川口基督教会にて開催することに決定した。

4. 教区礼拝を9月に開催してほしいとの教区婦人会の強い要望を受け、宣教部から日程変更の提案が出された。会場を提供して下さるプール学院と協議して、結論が得られたら変更することとした。

5. 主教から人事案について説明がなされた。

世界の窓

○ハイチ教区、多くの地震生存者を養う
英国聖公会に入った情報によると、ハイチ教区主教ジョン・ザッキ・ドウラシン師父から「ハイチ教区とその他の救

援組織が手を取り合い、被災者救援のために力を尽くしている」という書簡が届いた。書簡によるとハイチ教区の幼稚園から大学、福祉組織を含めた254の施設が全壊するなどの多大な被害を受け、多くの死傷者が出ているとのこと。また、100以上のハイチ教区の教会が壊滅的被害を受け、3,000人以上の生存者がハイチ教区の被災者キャンプに身を寄せているとのことである。ドウラシン主教も住居を失い被災者キャンプの中で支援活動を維持するために奮闘努力している。ドウラシン主教は書簡の中で「全世界の聖公会の祈りと支援を心から感謝します。どうか更なる祈りと援助をお願いしたい」と訴えている。
(Episcopal News Service Jan 25, 2010)



教区関係教役者  
逝去者記念聖餐式

- ◇ 3月10日(水) 午前11時
- 於: 主教座聖堂(川口基督教会)
- 説教者 テモテ 内田 望司祭
- 執事 ペテロ 井上 栄 (1966.3.1)
- 司祭 フレッド・ケトルウエル (1952.3.3 英)
- 伝道師 南 民子 (1961.3.10)
- 司祭 山崎 貞一 (1951.3.15)
- 宣教師 フローレンス・エリザベス・ガーデイナー(1970.3.17 英)
- 宣教師 リーラ・ブール (1924.3.20 米)
- 司祭 パウロ 安倍 騰 (1945.3.20)
- 主教 ヒュー・ジェームズ・フォス (1932.3.21 英)
- 司祭 オリヴァー・ヘイワード・ナイト (1969.3.22 英)
- 伝道師 ハンナ 田中 ヲハナ (1983.3.23)
- 宣教師 メアリー・ダブルデイ・ウッド (1891.3.24 英)
- 伝道師 林 歌子 (1946.3.24)
- 宣教師 ノーラ・フレデリカ・ジェニー・ボウマン (1965.3.24 英)
- 伝道師 姉川 鷺声 (1989.3.24)
- 司祭 岸本 隆一 (1953.3.26)
- 司祭 ステパノ 東海林 定一 (1993.3.26)
- 司祭 伊藤 堅逸 (1967.3.28)

- ◇ 4月14日(水) 午前11時
- 於: 主教座聖堂(川口基督教会)
- 説教者 ヨハネ 奥 康功司祭
- 執事 中西 義之 (1909.4.1)
- 主教 ジョン・マキム (1936.4.4 米)
- 司祭 ジョージ・ウイリアム・ローリングス (1933.4.7 英)
- 司祭 名出 武 (1945.4.7)
- 伝道師 織間 小太郎 (1934.4.15)
- 司祭 ベニヤミン 池沢 駿太郎 (1956.4.15)
- 司祭 ペテロ 薮本 竹次 (1979.4.15)
- 司祭 ジョン・キャメロン・マクドナルド (1993.4.15 加)
- 司祭 パウロ 藤倉 恒雄 (2001.4.17)
- 宣教師 メアリー・ジェーン・オクスラッド (1922.4.20 英)
- 司祭 ステパノ 井上 俊一 (1983.4.20)
- 宣教師 エレノア・メアリー・フォス (2002.4.21 英)
- 司祭 早川 喜四郎 (1943.4.23)
- 主教 ジョン・チャールズ・マン (1967.4.28 英)

\*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前11時から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

主教報告

・2月11日(木・祝) 中部教区主教按手式・就任式に大阪教区の代表として竹内信義常置委員長が出席することになった。

・教区礼拝については、プール学院より、継続的に9月第4主日に実施できるよう協力する旨、返事があったので、今年9月26日に決定した。

1月12日(第3回定例)

教務局長報告

・「慶弔見舞金規定」の改定が必要か財務委員会に諮問することとした。

協議事項

・第102(定期)教区会書記より、議案書に従って質問・回答・確認された事項および決定内容が読み上げられ、承認され確定した。主教および書記が署名捺印

して提出された。「教会奉仕者のための学び」について、準備が進められている旨の中間報告があった。



大阪教区子ども礼拝

## キッズフェスティバル2010

ねえ、知ってる? イエスさまはきみが好き!  
「愛・あい・アイ☆ランド」で遊ぼう!

「神は愛です。」(ヨハネの手紙I 4:16)

**4月29日(木・祝) 10:00~15:00**

会場: 聖贖主教会

主催: 大阪教区 宣教部生涯学習委員会  
(委員長 司祭 ダニエル 山野上 素允)

問い合わせ/石橋聖トマス教会 TEL: 06-6854-8657  
キッズフェスティバル実行委員会: 斎藤みち

申し込み/石橋聖トマス教会(FAX 06-6854-8658)まで



### 祝受洗

#### 大阪聖パウロ教会

マルタ 新井 俊  
(12月25日)

#### 芦屋聖マルコ教会

テレサ 八木 実幸  
(12月6日)

ペトロ 八木 繁幸  
(12月6日)

ジョン 三富 保志  
(12月6日)

リディア 市村 和子  
(12月6日)

シモン 宮原 公  
(12月6日)

ハンナ 宗 佐知子  
(12月6日)

#### 大阪城南キリスト教会

ヨセフ 湯浅 高昌  
(11月28日)

ヨハネ 八木 賢志  
(12月6日)

ニコル 三富由起子  
(12月6日)

ペトロ 八木 繁幸  
(12月6日)

ジョン 三富 保志  
(12月6日)

リディア 市村 和子  
(12月6日)

トマス 恒岡 文彦  
(12月6日)

シモン 宮原 公  
(12月6日)

ハンナ 宗 佐知子  
(12月6日)

#### 西宮聖ペテロ教会

ペテロ 長谷川正之  
(12月13日)

ジェームズ 中山 健  
(12月13日)



### 祝受按

#### 芦屋聖マルコ教会

マーガレット 泉 桃香  
(12月6日)



### 魂の平安を祈ります

#### 芦屋聖マルコ教会

マリヤ 岡山 安子  
(11月21日・88歳)

#### 尼崎聖ステパノ教会

エリザベツ 伊々田八重子  
(12月30日・69歳)

#### 大阪城南キリスト教会

ヨセフ湯浅 高昌  
(11月29日・85歳)

#### 教会・施設の動き

#### 芦屋聖マルコ教会

○12月6日に愛光幼稚園の遊戯室の起工式を大西主教司式で執り行いました。その後順調に工事は進み、2月7日(日)の午後2時から竣工式を執り行う予定です。  
○1月24日(日)午後2時から、芦屋JOC S主催でJOC S元ワーカー北川恵以子さんの報告会が当教会で開催され、80名が集いました。

#### 尼崎聖ステパノ教会

○12月20日(日)クリスマス総員礼拝は山根貞夫司祭をお迎えして司式・説教が行われました。山根司祭より菰野での生活の様子を楽しく聞かせていただきました。

#### 石橋聖トマス教会

○礼拝堂建替えのために購入した隣地約94坪の家屋を撤去、整地し、当分の間、駐車場として使用することになりました。また、フライデーナイト映画会の上映予定が変更され、3月19日「デアアドクター」、4月16日「わたしのの中のあなた」、5月21日「さまよう刃」を上映することにになりました。第三金曜日午後7時からです。無料です。お誘い合わせの上、ご参加ください。

#### 西宮聖ペテロ教会

○12月13日(日)、当教会念願のパイプオルガン聖別式が、大西教区主教を迎えて行われた。ドイツのポッシュ社から長い船旅の末、神戸港を経て、11月25日に教会に到着し、聖堂に設置された物で、現在5オルガニストが主日礼拝に力強く美しい演奏で礼拝を盛り上げています。オルガン使用規定を定め、また教会・教区内外の演奏家によるチャペルコンサートも計画している。

## 2010年大阪教区青少年キャンプ スタッフ募集のお知らせ

日程：8月9日(月)～11日(水)  
場所：紀泉わいわい村 (大阪府泉南市)

本年も上記のとおり青少年キャンプ(宣教部主催)を行うことになりました。

小学校3年生から中学校3年生までを対象にしたこともたちのキャンプです。開催にあたって、一緒にキャンプを企画、実行してくれるスタッフを募集します。

対象年齢は18歳以上(高校生は不可)です。

興味のある人は [saitoh@fj8.so-net.ne.jp](mailto:saitoh@fj8.so-net.ne.jp) までお気軽にお問い合わせください。

メール以外でのお問い合わせは、**宣教部長・齊藤司祭 (06-6722-4152 大阪城南キリスト教会)** まで